

ワールド ウッド トренд

No. 4, 1 AUG 2014



1. 台湾のスギ原木輸入増加

台湾の2013年の日本からの原木輸入量は、原木輸入量の12.2%を占める8万1,166m³にのぼり、マレーシアからの原木輸入（同53.5%）に次ぐ第2位となっている。日本からの原木輸入量を樹種別にみると、スギが7万9,774m³と最も多く、日本からの輸入原木の98.3%を占めている。次いで、ヒノキが756m³、マツ類が241m³、非針葉樹原木などが395m³となっている。

2014年1～5月における日本からのスギ原木輸入量は、下表に示すように、4万4,459m³となっており、前年同期比で1万2,797m³増加し、40.4%の伸びを示している。下半期もこの傾向が続けば、今年通年のスギ原木輸入量は10万m³を突破すると予想される。4月に実施したスギ輸入の台湾最大手企業に対するインタビュー調査の結果も、この予想を裏付ける内容となっている。

インタビュー調査及び税関の統計によれば、日本スギ原木の輸入価格は一段と上昇している。今年上半期のC&F価格は1m³あたり約135～140米ドルと、前年同期の120～125米ドルから15米ドル以上の引き上げとなっている。スギ1m³あたり140米ドル、利用率90%で計算すると、製材業者は1ボードフィート（1m³≒424ボードフィート）あたりの販売価格を台湾ドル15元前後に設定しなければ採算が取れないが、この価格は市場の相場価格14.5～15.5元とさほど変わらないため、スギ価格の高騰により、国内のスギ製材業者の収益が圧迫されることになる。

台湾の日本からのスギ原木月別輸入量（m³）

	1月	2月	3月	4月	5月	1-5月
2014年	4,871	11,492	12,279	8,889	6,928	44,459
2013年	4,975	4,211	7,581	8,533	6,362	31,662

2. 台湾の2014年1-5月主要木材製品の輸入実績

表1に示すように、ブロックボード（台湾木材業界の主産品）、単板を除き、今年1～5月の主要木材製品輸入量は、前年同期と比べて増加している。これは、台湾区内の需要増加によるものと見られる。

表1 台湾の2014年1～5月における主要木材製品の輸入量（m³）

	2014年5月	2014年1～5月	2013年1～5月	2013年同期比(%)
原木	55,487	328,311	305,539	7.5
製材品	118,859	502,762	502,494	0.05
合板	57,609	295,589	279,963	5.6
ブロックボード	1,105	4,224	4,800	-12.0
単板	20,451	89,837	113,582	-20.9
ランバーコア	25,785	168,543	162,341	3.8
パーティクルボード	24,749	123,381	106,683	15.7
繊維板	12,870	74,457	62,956	18.3

(1) 原木

今年1～5月の原木輸入量は、表1、2に示すように、約32万8,300m³となっており、前年同期比で2万3,000m³増加し、7.5%の伸びを見せている。これは、今年の住宅市場の景気が回復の兆しが見られ、建築材及び高級内装材の需要が増えたからである。特に、建築材として需要の伸びが著しいのは日本からのスギ原木であり、前年同期に比べ、約1万3,000m³増加している。

表2 台湾の2014年1～5月仕入先別原木輸入量

	マレーシア	日本	ミャンマー	ニュージーランド
数量 (m ³)	150,458	45,980	36,544	29,630
シェア (%)	45.83	14.01	11.13	9.02
	パプアニューギニア	その他	合計	
数量 (m ³)	22,662	43,037	328,311	
シェア (%)	6.90	13.11		

(2) 製材品

今年1～5月の製材輸入量は、表1、表3に示すように、約50万2,700m³でほぼ前年同期と変わらず、毎月の需要量は10万m³の水準で安定的に推移している。その中で、商業用パレット材及び梱包材は依然として高いシェアを占めており、対外貿易が堅調に推移していることが理由として挙げられる。

表3 台湾の2014年1～5月仕入先別製材品輸入量

	カナダ	米国	マレーシア	ニュージーランド	オーストラリア
数量 (m ³)	127,477	110,037	70,317	32,555	30,839
シェア (%)	25.36	21.89	13.99	6.48	6.13
	ラテンアメリカ	ヨーロッパ	その他	合計	
数量 (m ³)	28,749	25,262	77,526	502,762	
シェア (%)	5.71	5.02	15.42		

(3) 合板

今年1～5月の合板輸入量は、表1、表4に示すように、約29万5,500m³となっており、前年同期比で1万5,000m³増加し、5.6の伸びとなっている。合板の輸入統計には、約5万m³の建築用コンクリート型枠用合板と約3万2,000m³のLVLが含まれているため、家具用材や内装材として利用される合板はおよそ21万3,500m³前後であり、毎月の平均需要量は約4万3,000m³である。

また、この表から分かるように、中国大陸からの輸入量は既にマレーシアを追い抜き、輸入合板市場における最大の調達先となっている。

表4 台湾の2014年1～5月合板仕入先別輸入量

	中国大陸	マレーシア	インドネシア	ロシア	その他	合計
数量 (m ³)	128,368	114,399	44,402	5,324	3,096	295,589
シェア (%)	43.43	38.70	15.02	1.80	1.05	

(4) ブロックボード

今年1～5月のブロックボードの輸入量は、表1に示すように約4,200m³で、前年同期との比較では、576m³の減少となっている。ブロックボードの輸入先は主に中国大陸であるが、中国福建省福州地域に進出した台湾業者によって製造、輸入されているため、量的にはそれほど多くない。

(5) 単板

今年1～5月の単板輸入量は、表1、表5に示すように、約8万9,800m³となっており、前年同期に比べると約2万3,700m³、20.9%減少している。その原因としては、マレーシアからの供給が2万3,000m³減少したことが挙げられる。

ちなみに、マレーシア及びパプアニューギニアからの輸入単板は主にラワン材と熱帯雑木であり、中国及びベトナムからの輸入単板はユーカリ、カンボジアからの輸入単板はメルサワ、ニュージーランドからの輸入単板はラジアタパインが中心となっている。

表5 台湾の2014年1～5月単板仕入先別輸入量

	マレーシア	中国	ベトナム	ニュージーランド
数量 (m ³)	47,138	12,520	7,220	5,989
シェア (%)	52.47	13.94	8.04	6.67
	パプアニューギニア	カンボジア	その他	合計
数量 (m ³)	3,650	2,066	11,254	89,837
シェア (%)	4.06	2.30	12.52	

(6) ランバーコア原料

今年1～5月のランバーコア輸入量は、表1、表6に示すように、約16万8,500m³となっており、前年同期比で約6,200m³増加し、3.8%の伸びを示している。

ランバーコア及び単板は、国内合板業者がブロックボードを製造するための原料として利用されている。今年1～5月のランバーコアの買い付けは順調に進んでいるものの、買付価格が高騰し続けている。モルッカネムランバーコアを例にとってみると、今年5月の買付単価は前年同期の285～290米ドル/m³から315～320米ドル/m³に上昇した。買付価格の上昇に加えて、しばしば供給不足が発生するため、国内製造業者の需要を満たすことができず、業界はブロックボードの生産原料の確保に頭を悩ませている。

表6 台湾の2014年1～5月ランバーコア仕入先別輸入量

	インドネシア	マレーシア	その他	合計
数量 (m ³)	150,050	14,588	3,905	168,543
シェア (%)	89.03	8.66	2.31	100

ブロックボードの輸入原料から推定すると、今年1～5月の台湾産ブロックボードの生産量は約22万m³、毎月約4万m³強となっており、合板の使用量とほぼ同じである。

(7) パーティクルボード

今年1～5月のパーティクルボード輸入量は、表1、表7に示すように、約12万3,300m³となっており、前年同期比で1万6,700m³増加し、15.7%の伸びを示している。その原因としては、建築内装及び輸出家具市場の景気回復が挙げられる。

表7 台湾の2014年1～5月パーティクルボード仕入先別輸入量

	タイ	スペイン	ルーマニア	フランス	オーストリア	ポルトガル
数量 (m ³)	43,871	16,025	15,548	11,240	10,847	7,418
シェア (%)	35.56	13.00	12.60	9.11	8.79	6.01
	中国大陸	ドイツ	カナダ	ベルギー	その他	合計
数量 (m ³)	5,716	3,876	3,875	2,719	2,246	123,381
シェア (%)	4.63	3.14	3.14	2.20	1.82	

(8) 繊維板

今年1～5月の繊維板輸入量は、表1、表8に示すように、約7万4,400m³となっており、前年同期に比べると1万1,500m³増加し、18.3%の伸びを示している。その原因としては、建築内装及び輸出家具市場の景気回復が挙げられる。

表8 台湾の2014年1～5月繊維板仕入先別輸入量

	タイ	マレーシア	中国大陸	インドネシア	ニュージーランド	チリ
数量 (m ³)	40,227	7,340	5,923	4,272	4,043	2,852
シェア (%)	54.03	9.86	7.95	5.74	5.43	3.83
	ブラジル	ドイツ	オーストラリア	韓国	その他	合計
数量 (m ³)	2,792	1,653	1,571	1,282	2,502	74,457
シェア (%)	3.75	2.22	2.11	1.72	3.36	

(本文は現地レポートを基に編集したもの)